

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|--|-----|-------------------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・コミュニケーション英語 I | 講座名 | コミュニケーション英語 I (T) | 対象年次 | 1 |
| 教科担任 | 井慎一郎、松原隆、片岡桃子、芝原美希、増田雅弘、見目佳子、Michael Crossey、John MacInnes | | | 単位数 | 1 |
| 教科書 | Vision Quest English Expression I Advanced | | | | |
| 副教材等 | | | | | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。プレゼンテーション活動を通じて、英語による効果的な発表法を練習する。 |
|------|---|

| 月 | 期間 | 単 元 | 配当時間 | 学 習 内 容 | 学習上の留意点 |
|----------|---------|--|------|------------------------------------|---|
| 4月 | 第一回定期考査 | Lesson1~2 | 5 h | 自己紹介 興味・関心 Show & Tell | <ul style="list-style-type: none"> ●モデル会話に関心を持ち、聞き、発話する。 ●間違いを恐れず、積極的に表現しようとする。 ●積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ●自分のことについて話し、発表する。 |
| 5月 | | | | | |
| 5月 | 第二回定期考査 | Lesson3~4 | 6 h | 旅行 スポーツ Show & Tellプレゼンテーション | <ul style="list-style-type: none"> ●モデル会話に関心を持ち、聞き、発話する。 ●間違いを恐れず、積極的に表現しようとする。 ●積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ●自分のことや与えられた課題について話し、発表する。 |
| 7月 | | | | | |
| 7月 | 第三回定期考査 | Lesson5~8 | 7 h | 食事 観光 交際 | <ul style="list-style-type: none"> ●モデル会話に関心を持ち、聞き、発話する。 ●間違いを恐れず、積極的に表現しようとする。 ●積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 |
| 10月 | | | | | |
| 10月 | 第四回定期考査 | Lesson9~12 | 7 h | ルール 文化 社会問題 悩み事 | <ul style="list-style-type: none"> ●モデル会話に関心を持ち、聞き、発話する。 ●間違いを恐れず、積極的に表現しようとする。 ●積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 |
| 12月 | | | | | |
| 12月 | 第五回定期考査 | スピーチ検定問題 | 9 h | スピーチプレゼンテーション 検定スピーキング問題 | <ul style="list-style-type: none"> ●モデル会話に関心を持ち、聞き、発話する。 ●間違いを恐れず、積極的に表現しようとする。 ●積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ●与えられた課題について話し、発表する。 |
| 3月 | | | | | |
| 評価の観点・方法 | | 評価は、授業への参加度、英作文、プレゼンテーション、課題の提出状況、出席状況などを総合的に判断して決定する。 | | | |

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|---|-----|-------------------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・コミュニケーション英語 I | 講座名 | コミュニケーション英語 I (R) | 対象年次 | 1 |
| 教科担任 | 井慎一郎、松原隆、片岡桃子、見目佳子 | | | 単位数 | 3 |
| 教科書 | PRO-VISION English Communication I (桐原書店) | | | | |
| 副教材等 | コーパス3000(東京書籍),Listening Essentials 1.5(啓隆社),10分間英語速読トレーニング(桐原書店) | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 語彙・文法・発音などを意識しながら4技能の向上を目指す。 JETを交えた授業を通し、英語で発信する力をつける。 |
|------|--|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----------|-----------------|-----------------------------------|------|--|---|
| 4月 } | 第一回 定期 考査 | Lesson 1 | 18 h | iPS 細胞を作製した山中伸弥博士の半生と、夢を追い求めるための座右の銘を伝える。興味・関心と適性を生かし、自らの進むべき道を開拓し、努力する人物を紹介する。 | 定型表現を用いてごく短く簡単に自己紹介し、将来の夢を伝える。 |
| 5月 } | 第二回 定期 考査 | Lesson 2 Lesson 3 | 18 h | 世界に広がった日本のお弁当文化を紹介する。日本の伝統文化のもつ可能性を考え、他国の文化に対する考え方や感じ方を深める。 女性マラソンランナーの先駆者の一人であるキャサリン・スウィツァー氏の経験を通じ、男女の平等を重んじ、より良い社会の実現のために主体的に社会にかかわることの重要性を伝える。 | 自分が知っている物(日本の土産物)を簡単な語句を用いて説明し、相手に勧める。 好きなスポーツ選手について、短い文章を書く。 |
| 7月 } | 第三回 定期 考査 | Lesson 4 Lesson 5 | 21 h | ビーバーが生態系において果たす重要な役割について学習し、環境保全について考える。 チョコレートにまつわる文化や歴史を学習し、広範な知識と多様な物の見方を身に付ける。 | 動物の生態を簡単な語句を用いて説明し、クイズを出す。 グラフから読み取った情報を説明する。 |
| 10月 } | 第四回 定期 考査 | Lesson 6 Lesson 7 | 21 h | ベネズエラの音楽教育システム「エル・システム」について紹介する。自主及び自律の精神を養うこと、また、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。 植物と動物の間及び植物同士の間で行われているコミュニケーションについての記述を通じ、自然の驚異を学習し、生命の尊さ、環境の保全の重要性を考える。 | 「音楽の力」についてのインタビューをする。過去の活動に関する質問をしたり、そのような質問に答える。 生物のコミュニケーションについて調べ、発表する。 |
| 12月 } | 第五回 定期 考査 | Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 | 27 h | マララ・ユスフザイ氏の国連での演説を読む。より良い社会の実現のために、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。 雪の結晶が生成されるメカニズムなどを学習する。興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養う。 科学的な測定を使って、5,300年前に亡くなった男のミイラから、有史以前の人類の生活を探る。興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養う。 | 適切な句や挨拶を使って手紙を書く。 何をするか、どこへ行くかを話し合う。必要に応じて、相手に賛成したり反対したり、比較したりする。 博物館のパンフレットを作る。物事を描写・説明する語句を含める。 |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | 計5回の定期考査のほか、小テスト、提出物、授業への参加態度等総合的に判断し評価する。 |
|----------|--|

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|---|-----|--------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・英語表現 I | 講座名 | 英語表現 I | 対象年次 | 1 |
| 教科担任 | 井慎一郎、松原隆、五十嵐真喜子 | | | 単位数 | 2 |
| 教科書 | Vision Quest English Expression I (Advanced) (啓林館) | | | | |
| 副教材等 | Breakthrough English Grammar 27英文法・ワークブック・基本例文ノート・参考書 (美誠社) | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 英語の表現方法や論理展開を体系的に学び、高校の英語学習に必要な英語運用能力の基礎を身につける。コミュニケーションを支えるものとして文法学習を進め、多様で適切な英語表現の力を身につける。 |
|------|--|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|--------------|---------|---------------------------------------|------|--|---|
| 4月 } 5月 | 第一回定期考査 | Lesson 1 ~ Lesson 5 | 12h | 文の要素・文の種類 自動詞と他動詞 基本文型 様々な疑問文 基本時制 | 予習復習を習慣づける。 暗唱例文を通してその課の学習ポイントを習得し、Exercise や表現活動で定着を図る。 |
| 6月 } 7月 | 第二回定期考査 | Lesson 6 ~ Lesson 10 | 12h | 進行形 (現在進行形・過去進行形) 完了形 (現在/過去/未来完了・完了進行形) 助動詞 | 予習復習を習慣づける。 暗唱例文を通してその課の学習ポイントを習得し、Exercise や表現活動で定着を図る。 |
| 7月 } 10月 | 第三回定期考査 | Lesson 11 ~ Lesson 15 | 14h | 受動態 (助動詞+受動態・進行形/完了形+受動態・群動詞の受動態) 不定詞 (名詞的/形容詞的/副詞的用法) | 予習復習を習慣づける。 暗唱例文を通してその課の学習ポイントを習得し、Exercise や表現活動で定着を図る。 |
| 10月 } 12月 | 第四回定期考査 | Lesson 16 ~ Lesson 20 | 14h | 動名詞 (否定の動名詞・意味上の主語と不定詞・受動態と完了形・前置詞との連結) 分詞 (現在分詞と過去分詞・分詞の各種用法・分詞構文) 関係代名詞 (主格、所有格、目的格) | 予習復習を習慣づける。 暗唱例文を通してその課の学習ポイントを習得し、Exercise や表現活動で定着を図る。 |
| 12月 } 3月 | 第五回定期考査 | Lesson 21 ~ Lesson 24 復習とまとめ | 18h | 関係代名詞 (前置詞との連結・whatの用法) 関係副詞 (関係副詞の種類・非制限用法) 比較 (原級・比較級・最上級) 復習とまとめ | 予習復習を習慣づける。 暗唱例文を通してその課の学習ポイントを習得し、Exercise や表現活動で定着を図る。 |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | 評価は、定期考査、授業内で実施する小テスト、課題の提出状況、GTEC、出席状況、授業での取り組みなどを総合的に判断して決定する。 |
|----------|--|

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|---|-----|------------------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・コミュニケーション英語Ⅱ | 講座名 | コミュニケーション英語Ⅱ (R) | 対象年次 | 2 |
| 教科担任 | 笠島 喜与都、玉山 妙、松坂 輝夫 | | | 単位数 | 4 |
| 教科書 | PRO-VISION English Communication Ⅱ (桐原書店) | | | | |
| 副教材等 | システム英単語(駿台), Listening Essentials 2(啓隆社), 10分間英語速読トレーニング(桐原書店), Take Up English Reading(数研出版) | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 語彙・文法・発音などを意識しながら4技能の向上を目指す。 JETを交えた授業を通し、英語で発信する力をつける。 |
|------|--|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|-----------------|-----------------|-----------------------------------|------|--|---|
| 4月 ～ 5月 | 第一回 定期 考査 | Lesson 1 | 18 h | 人類の多様性を受け入れ、自己の興味・関心と適性を生かし、自らの進むべき道を開拓する人物として、ボーダーレスに生きる漫画家ヤマザキマリ氏を紹介する。 | 列挙の定型表現を用いて、理想の旅について順を追って説明する。 |
| 5月 ～ 7月 | 第二回 定期 考査 | Lesson 2 Lesson 3 | 18 h | 西洋社会から怠惰のレッテルを貼られたナマケモノだが、動かないのはりっぱな理由がある。森と共生して平和に暮らすナマケモノの生態を知り、生命を尊び、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養う。 ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山を通じて、日本の伝統文化に加え、それらが他国に与えた影響を学ぶ。自国と他国の文化に対する考え方や感じ方を深める。 | つながりを示す語句を使って、比較・対照のパラグラフを書く。 図版を用いて、地域の名所を紹介するウェブサイトを作る。 |
| 7月 ～ 10月 | 第三回 定期 考査 | Lesson 4 Lesson 5 | 21 h | デジタル化社会がもたらす利点や弱点を考えることによって、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。 デザインのカで開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みを通じ、より良い社会の実現のために、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。 | 読んだ内容に基づき、手書き・タイピングの是非について話し合う。 図版を用いて、製品を宣伝するポスターを作る。 |
| 10月 ～ 12月 | 第四回 定期 考査 | Lesson 6 Lesson 7 | 21 h | 古代オリンピック発祥から近代オリンピック復活までの歴史やそれを支えた理念をたどり、生徒の知的な興味・関心を強く喚起しながら、広範な知識と多様な物の見方を身につける。 さまざまな深海生物の生態を知り、宇宙生命が存在する可能性までを考察する。生命の神秘と自然の驚異を学習し、生命の尊さと重要性を伝える。 | スポーツの名場面について、感想や自分の経験を述べる。 与えられた漫画の文脈に合ったセリフを書き、完成させる。 |
| 12月 ～ 3月 | 第五回 定期 考査 | Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 | 27 h | ハンディキャップを乗り越えて生きた女性の人生を通じ、より良い社会の実現のために主体的に社会にかかわることの重要性を伝える。 笑いのメカニズムを科学的、心理学的、社会学的観点から考察する。生徒の知的な興味・関心を喚起し、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養う。 ナチスによる迫害を受けたユダヤ人の少年少女たちが、自分たちの自由と誇りを守るために手作りの新聞を発行したという史実を通じ、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主の精神を養う。 | いちばん嬉しかったプレゼントについて自分の経験を話す。 笑いについての格言を作る。 登場人物の状況にあると仮定して自分の考えを伝え、話し合う。 |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | 計5回の定期考査のほか、小テスト、提出物、授業への参加態度等総合的に判断し評価する。 |
|----------|--|

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|---|-----|-------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・英語表現Ⅱ | 講座名 | 英語表現Ⅱ | 対象年次 | 2 |
| 教科担任 | 笠島 喜与都、玉山 妙、松坂 輝夫 | | | 単位数 | 4 |
| 教科書 | Vision Quest English Expression Ⅱ (啓林館) | | | | |
| 副教材等 | Vision Quest English Grammar 24 (啓林館) UPGRADE 英文法語法問題 (数研出版) | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 英文法の基礎を体系的に学び、高校2年生に必要と思われる知識をつける。 来年度以降の学習に向けての英文法の総合的基礎を形成する。 英語で簡単なディスカッションができる語彙力や表現力を身につける。 |
|------|--|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|-----------------|---|--|------|---|--|
| 4月 ～ 5月 | 第一回定期考査 | Vision Quest Lesson 1～2 Vision Quest English Grammar 第18～20章 Plus8 | 12h | 関係詞1 主格・目的格・所有格 関係詞2 thatの用法・前置詞の目的格になる 関係代名詞・whatの用法 関係詞3 限定用法と非限定用法・関係副詞 関係詞発展 複合関係代名詞・複合関係副詞 | キーセンテンスを通じてその課のポイントを習得し、Exercise で定着を図る。 |
| 5月 ～ 7月 | 第二回定期考査 | Vision Quest Lesson 2～3 Vision Quest English Grammar 第21～24章 Plus 9 | 12h | 比較1 原級を使った比較表現・比較級を使った比較表現 比較2 最上級を使った比較表現・原級比較級を使った最上級表現 比較発展 比較を使った定型表現 比較を使った構文 | キーセンテンスを通じてその課のポイントを習得し、Exercise で定着を図る。 |
| 7月 ～ 10月 | 第三回定期考査 | Vision Quest Lesson 4～5 UPGRADE 英文法語法問題 Lesson1～5 | 14h | 1 時制 動作動詞と状態動詞/現在形と現在進行形/過去形と過去進行形等 2 助動詞 推量/祈願/義務・必要/禁止/当然・推量/過去の推量等 3 仮定法 仮定法過去/仮定法過去完了/混合型/倒置形の仮定法等 4 態 受動態と能動態/進行形受動態等 5 不定詞 不定詞が表す時等 | キーセンテンスを通じてその課のポイントを習得し、Exercise で定着を図る。 |
| 10月 ～ 12月 | 第四回定期考査 | Vision Quest Lesson 5～6 UPGRADE 英文法語法問題 Lesson6～10 | 14h | 6 動名詞 動名詞が表す時/否定形等 7 動名詞と不定詞 動名詞のみor不定詞のみを目的語にとる動詞等 8 分詞 分詞構文 独立分詞構文等 9 前置詞 句前置詞等 10 接続詞 名詞節を導く接続詞 副詞節を導く接続詞 | キーセンテンスを通じてその課のポイントを習得し、Exercise で定着を図る。 |
| 12月 ～ 3月 | 第五回定期考査 | Vision Quest Lesson 7 UPGRADE 英文法語法問題 Lesson11～15 | 18h | 11 関係詞 複合関係代名詞等 12 疑問文 感嘆文と間接疑問文等 13 比較 比較の慣用表現等 14 否定 全体否定と部分否定 二重否定等 15 その他の重要事項 倒置 省略 代用 強調 否定語句等 | キーセンテンスを通じてその課のポイントを習得し、Exercise で定着を図る。 |
| 評価の観点・方法 | 評価は、定期考査及び宿題考査の得点、授業内で実施する小テスト、課題の提出状況、出席状況、授業への取り組み、などを総合的に判断して決定する。 | | | | |

| | | | | | |
|-------|--|-----|--------------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・コミュニケーション英語Ⅲ | 講座名 | コミュニケーション英語Ⅲ | 対象年次 | 3 |
| 教科担任 | 黒澤一晃・芝原美希・棚田裕美・増田雅弘・渡邊純 | | | 単位数 | 4 |
| 教科書 | PRO-VISION English Communication Ⅲ (桐原書店) | | | | |
| 副教材等 | Active Writing(第一学習社), 2022共通テスト英語リーディング(Learn-S), STARTING LINE(いっぴいな書店), UPGRADE(数研出版), Focus on Listening Training book (エミ出版)等 | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 大学入学共通テストに対応できる英語力(特にリーディング力とリスニング力)を伸ばさせる。自ら進んで学習を深め、意欲的に学習していく姿勢を養う。 |
|------|--|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|-----|---------|---|------|---|---|
| 4月 | 第一回定期考査 | Pro-vision Lesson1,2 共通テスト 第1問～第6問 第2回目 | 20 h | <ul style="list-style-type: none"> ・スペインのサグラダ・ファミリアで主任彫刻家を務める外尾悦郎氏の、海外で修業に明け暮れた若かりし日の経験を読む。興味・関心と適性を生かし、自らの進むべき道を開拓し、努力する人物の生き方を学ぶ ・ジーンズの歴史や流行の変遷から、衣服がもつ複雑で象徴的な意味を考え、幅広い知識や教養を身に付ける。 ・英文を意味的なまとまりごとに、前から読んで理解する習慣をつける。 ・情報検索力を伸ばす | 生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。 |
| 5月 | | Writing Lesson1～4 | | | |
| 5月 | 第二回定期考査 | Pro-vision Lesson3,5 共通テスト 第1問～第6問 第3回目 | 20 h | <ul style="list-style-type: none"> ・発酵食品は栄養価が高く、さまざまな健康効果がある。発酵の作用は食品以外にもさまざまな目的で使われている。発酵が持つ驚異のパワーについて学ぶ。 ・世界の人口が増え続ける中、各地で深刻な水不足が起こりつつある。水問題の現状と、それを解決するための取り組みを学ぶ。 ・英文を意味的なまとまりごとに、前から読んで理解する習慣をつける。 ・情報検索力を伸ばす | 生徒の興味関心に即した読み物を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。 |
| 7月 | | Writing Lesson5～8 | | | |
| 7月 | 第三回定期考査 | Pro-vision Lesson7 長文問題演習 共通テスト 第1問～第6問 第4回目 | 28 h | <ul style="list-style-type: none"> ・人は誰もが誘惑に駆られてずるをする可能性がある。不正行為は何によって引き起こされるのか、心理学の観点から自分の行動をコントロールする方法を考え、道徳心を培う。 ・長く複雑な文を的確に文節に分け、解釈できるようにする。 ・ディスコースマーカーに着目し、文章の展開を見分ける技術をつける。 ・英文を意味的なまとまりごとに、前から読んで理解する習慣をつける。 ・情報検索力を伸ばす ・入試問題実践演習を通して、求められている解答を正確に導き出す力をつける。 | 難易度の高めの英文を扱い、主に読解力を養う。リスニングやライティング指導も行い、聞く、読む、書く、の3技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。 |
| 10月 | | Writing Lesson9～12 | | | |
| 10月 | 第四回定期考査 | 長文問題演習 共通テスト 第1問～第6問 第4回目 | 28 h | <ul style="list-style-type: none"> ・長く複雑な文を的確に文節に分け、解釈できるようにする。 ・ディスコースマーカーに着目し、文章の展開を見分ける技術をつける。 ・英文を意味的なまとまりごとに、前から読んで理解する習慣をつける。 ・情報検索力を伸ばす ・入試問題実践演習を通して、求められている解答を正確に導き出す力をつける。 | 実力養成期と位置づけ、主に大学入試問題を扱いながら、読解力の強化と、記述問題への対応力を養う。 |
| 12月 | | Writing Lesson9～12 | | | |
| 12月 | 第五回定期考査 | 共通テスト問題演習 | 10 h | <ul style="list-style-type: none"> ・制限時間を体感しながら大学共通テストに向けた問題演習を行う。解法のポイントを押さえ、新出語句・文法・構文事項を習得する。 ・入試問題実践演習を通して、求められている解答を正確に導き出す力をつける。 ・習得したリーディング・スキルをフル活用して英文を読む。 | 大学入学共通テストの問題形式に慣れると同時に、不足している知識を確認し、補う。 |
| 3月 | | | | | |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | 計4回の定期考査のほか、小テスト、提出物、授業への参加態度等総合的に判断し評価する。 |
|----------|--|

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|---|-----|-------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・英語表現Ⅱ | 講座名 | 英語表現Ⅱ | 対象年次 | 3 |
| 教科担任 | 黒澤一晃、芝原美希、棚田裕美、渡邊純 | | | 単位数 | 2 |
| 教科書 | Vision Quest English Expression II Ace | | | | |
| 副教材等 | アップグレード英文法・語法問題、アップグレード英文法・語法問題完全演習「標準・ランダム」編 | | | | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | 最終年次生としてセンター試験から各大学個別入試までの入試問題に対応できる文法語法および英作文の力をつける。 |
|------|---|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----------|---------|--|------|--|---------------------------------------|
| 4月 | 第一回定期考査 | ・アップグレード英文法・語法問題完全演習実践標準編Part1①～⑥ ・アップグレード英文法・語法問題三訂版Part1①～⑥ | 12h | 動詞の語法・文法 時制、助動詞、仮定法、態、動名詞の用法 句を用いた応用的英作文 | 入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。 |
| 5月 | | | | | |
| 5月 | 第二回定期考査 | ・アップグレード英文法・語法問題完全演習実践標準編Part1⑦～⑬ ・アップグレード英文法・語法問題三訂版 Part 1⑦～⑬ | 12h | 動詞の語法・文法 不定詞VS動名詞、分詞、前置詞、接続詞、関係詞、疑問文、比較の用法 句を用いた応用的英作文 | 入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。 |
| 7月 | | | | | |
| 7月 | 第三回定期考査 | ・アップグレード英文法・語法問題完全演習実践標準編Part1⑭～⑯ランダム編第1～6回 ・アップグレード英文法・語法問題三訂版Part 1～5 | 14h | 否定、倒置・省略・代用・強調の用法、主語と動詞の呼応 総合的な文法・語法演習 (4択問題、括弧埋め問題、正誤問題、並び替え問題、英作文など) | 入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。 |
| 10月 | | | | | |
| 10月 | 第四回定期考査 | ・アップグレード英文法・語法問題完全演習実践ランダム編第7～15回 ・アップグレード英文法・語法問題三訂版Part 1～5 | 14h | 総合的な文法・語法演習 (4択問題、括弧埋め問題、正誤問題、並び替え問題、英作文など) | 入試問題演習と解説を通じて、既習の文法事項の確認と定着。応用発展力の伸長。 |
| 12月 | | | | | |
| 12月 | 第五回定期考査 | | h | | |
| 3月 | | | | | |
| 評価の観点・方法 | | 評価は、定期考査及び授業内で実施する小テスト、課題の提出状況、出席状況、授業への取り組みなどを総合的に判断して決定する。 | | | |

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|-------------------|-----|------------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・英語基礎演習 | 講座名 | 英語基礎演習（初級） | 対象年次 | 3 |
| 教科担任 | 芝原 美希 | | | 単位数 | 2 |
| 教科書 | 基礎からの新々総合英語（数研出版） | | | | |
| 副教材等 | | | | | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | センター試験レベルの入試に対応できる総合的な英語力や精読・作文の力を養成する。またペア活動やグループ協議などのコミュニケーション活動を可能な限り取り入れ、4技能の伸長を図る。 |
|------|---|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|-----------------|-----------------|--|-------|---|--|
| 4月 ～ 5月 | 第一回 定期 考査 | Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 | 1 2 h | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文の種類 ・ 時制（1）（2） ・ 助動詞 | 文法・語法の力を養成して、その力を基に精読・作文を行い、思考力、判断力、表現力が身に付くようにする。 |
| 5月 ～ 7月 | 第二回 定期 考査 | Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 | 1 2 h | <ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞の態 ・ 不定詞（1）（2） ・ 動名詞 | 文法・語法の力を養成して、その力を基に精読・作文を行い、思考力、判断力、表現力が身に付くようにする。 |
| 7月 ～ 10月 | 第三回 定期 考査 | Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 | 1 4 h | <ul style="list-style-type: none"> ・ 分詞 ・ 比較（1）（2） ・ 関係詞（1）（2） | 文法・語法の力を養成して、その力を基に精読・作文を行い、思考力、判断力、表現力が身に付くようにする。 |
| 10月 ～ 12月 | 第四回 定期 考査 | Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 | 1 4 h | <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法 ・ 時制の一致 ・ 接続詞 ・ 共通テストリスニング | 文法・語法の力を養成して、その力を基に精読・作文を行い、思考力、判断力、表現力が身に付くようにする。 |
| 12月 ～ 3月 | 第五回 定期 考査 | 入試問題演習 | 1 8 h | 大学入試にむけて過去問題を演習する。 | 文法・語法の力を養成して、その力を基に精読・作文を行い、思考力、判断力、表現力が身に付くようにする。 |

| | |
|----------|---|
| 評価の観点・方法 | 定期試験を通して、学習の定着度を見る。平常の学習、小テスト、意欲、取り組みも加味して評価する。 |
|----------|---|

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

| | | | | | |
|-------|-------------------------|-----|------------|------|---|
| 教科・科目 | 外国語・英語総合問題演習 1 | 講座名 | 英語総合問題演習 1 | 対象年次 | 3 |
| 教科担任 | 黒澤一晃 | | | 単位数 | 2 |
| 教科書 | なし | | | | |
| 副教材等 | Cutting Edge 3 (EMILE)) | | | | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | 読解中心の問題演習を通し、記述形式も含めて多様な問題形式に慣れ、個々の形式に共通する基本事項を確認し、知識、読解する上での技術、応用力を伸張する。難関大学の入試に対応できるように、難易度を高くする。 |
|------|---|

| 月 | 期間 | 単元 | 配当時間 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----------|--|---------------|------|-----------------------|----------------------------|
| 4月 } | 第一回定期 } 5月 } 定期 } 5月 } 考 } 5月 } 査 | Chapter 1-4 | 12 h | 科学、言語 科学、経済 | 速読、精読を通し、読解力、思考力、記述力を習得する。 |
| 5月 } | 第二回定期 } 7月 } 定期 } 7月 } 考 } 7月 } 査 | Chapter 5-8 | 12 h | 環境、宇宙 時事・I T、時事・社会 | 速読、精読を通し、読解力、思考力、記述力を習得する。 |
| 7月 } | 第三回定期 } 10月 } 定期 } 10月 } 考 } 10月 } 査 | Chapter 9-11 | 14 h | 時事・社会、時事・歴史 社会・心理 | 速読、精読を通し、読解力、思考力、記述力を習得する。 |
| 10月 } | 第四回定期 } 12月 } 定期 } 12月 } 考 } 12月 } 査 | Chapter 13-15 | 14 h | 科学・社会・心理 科学 | 速読、精読を通し、読解力、思考力、記述力を習得する。 |
| 12月 } | 第五回定期 } 3月 } 定期 } 3月 } 考 } 3月 } 査 | 大学入試問題 | 18 h | さまざまなジャンルの英文 | 速読、精読を通し、読解力、思考力、記述力を習得する。 |

| | |
|--------------|---|
| 評価の観点 ・方法 | 計4回の定期考査のほか、小テストや提出物、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。 |
|--------------|---|

